

カーボンニュートラルの
早期実現を目指して

CO₂分離回収・資源化 コンソーシアム

● 会長あいさつ

2020年10月、菅内閣総理大臣は、2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、また多くの国や地域が、2050年までのカーボンニュートラルの実現を表明しています。

このような状況にあって、化学・素材産業の低炭素化および脱炭素化は、日本のサプライチェーン全体の脱炭素化の観点からも重要な課題です。産総研は、これまでにCO₂分離回収、資源化および固定化技術の開発、システム設計技術、材料評価技術の研究を広く推進し、多くの企業と技術コンサルティングや共同研究を進めてきました。

これに加えて、2050年までにカーボンニュートラルを達成するには、化学・素材産業全体のCO₂排出削減に寄与するCO₂分離回収、資源化および固定化技術の開発と、個別企業のCO₂排出削減に最適化された技術の実装を並行させることが必要となります。

これらを実現する場として、2021年9月に「CO₂分離回収・資源化コンソーシアム」を設立しました。このコンソーシアムを情報交流と企業間連携の場として、さまざまな法人、企業、大学、公的研究機関の英知を結集して、業界全体の技術力向上を図り、カーボンニュートラルの早期実現に貢献します。

CO₂分離回収・資源化コンソーシアム
会長 濱川 聡

● 概 要

カーボンニュートラルの早期実現に貢献

CO₂分離回収・資源化・固定化技術の確立

1. CO₂分離回収・資源化と固定化技術に関する国内外技術動向等の最新技術情報の取得
2. 技術課題の解決に向けた相談・アドバイスや共同研究によるソリューション提案
3. カーボンニュートラルに向けた異業種連携ネットワーク作り

産総研



CO₂分離回収・資源化
コンソーシアム

講演会、技術相談、公知情報アーカイブ、情報交換、マッチング、技術動向レポート、
ワーキンググループ、見学会

※下線は法人会員B・特別会員のみ

企業
(建設・エンジニアリング)

企業
(金属・機械・電機)

企業
(化学・素材)

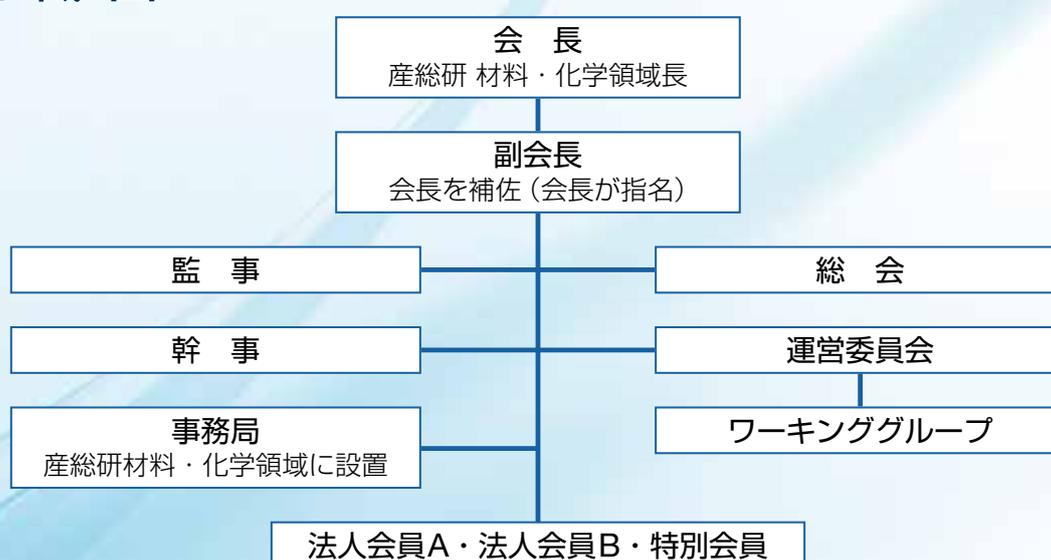
企業
(電力・ガス・石油)

大学・官公庁・
公的研究機関等

● 活動内容

共通理解の深化	CO ₂ 分離回収・資源化および固定化技術に関する講演会の開催 公知情報のアーカイブ、最新の技術動向レポートなどの提供
対話と共創の促進	会員間の情報交換とマッチングの場の提供 共同研究立案・研究プロジェクト提案に向けたワーキンググループの開催
技術普及の推進	CO ₂ 分離回収・資源化および固定化技術に関する技術相談 材料評価設備などの見学会の開催

● 組織図



● 会員種別と年会費

法人会員 A：本コンソーシアムの目的に賛同する法人又は団体 5万円/年

技術相談、講演会への参加、公知情報アーカイブ、最新の技術動向レポートなどの提供
総会への参加（議決権なし）

法人会員 B：本コンソーシアムの目的に賛同する法人又は団体 30万円/年

上記に加えて、ワーキンググループ、見学会への参加、
総会への参加（議決権あり）

特別会員：大学および公的研究機関の研究者ならびに、会長が特に認める者 無料

技術相談、講演会への参加、公知情報アーカイブ、最新の技術動向レポートなどの提供
ワーキンググループ、見学会への参加、総会への参加（議決権なし）

入会お申込みは、ホームページ「入会案内」より入会申込書をダウンロードしてご記入いただき、事務局までメールにてお送りください。

<https://unit.aist.go.jp/dmc/consortium/co2c/index.html>

CO₂分離回収・資源化コンソーシアム 事務局
E-mail : M-CO2-consortium-ml@aist.go.jp





国立研究開発法人
産業技術総合研究所

CO₂分離回収・資源化コンソーシアム

〒305-8565 茨城県つくば市東1-1-1 中央第5

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

CO₂分離回収・資源化コンソーシアム 事務局

電話：029-861-8489 E-mail：M-CO2-consortium-ml@aist.go.jp

<https://unit.aist.go.jp/dmc/consortium/co2c/index.html>

2022年3月発行 ©2022 CO₂分離回収・資源化コンソーシアム (禁無断転載)

